

不老川（不老橋）生物調査経年変化

調査年度			S58	S60	S62	S63	H1	H2	H3	H8	H9	H12	H18	H22	H27	H30	R3	R6										
底生物			αm	αm	Ps	Ps	Ps	Ps	αm~Ps	Ps	αm~Ps	βm~αm	-	αm	βm~αm	※	※	0s~βm										
付着藻類			αm	βm	Ps	αm	αm	αm	αm	αm	-	-	-	βm	βm	※	※	βm										
BOD年平均値 (mg/l)			80	70	60	37	21	30	27	22	14	16	5.5	3.8	2.2	2.7	1.7	2.3										
目名	科名	和名	魚類採捕数																									
コイ	コイ	コイ	調 査 未 実 施	調 査 未 実 施	調 査 未 実 施	18	調 査 未 実 施	1	6	目視	※	※	※															
		ギンブナ				3													4	10	5				19			
		ゲンゴロウブナ				2																						
		オイカワ																	13	58	22				199			
		ウグイ																			4				1			
		モツゴ																	37	1	7				7			
		タモロコ																	3	2	2				2			
		カマツカ類																							1			
	ドジョウ	ドジョウ																							5	3	1	7
		カラドジョウ																									1	1
ナマズ	ナマズ	ナマズ											1	5	2													
ダツ	メダカ	ミナミメダカ										17		3	1													
カダヤシ	カダヤシ	カダヤシ													1													
ボラ	ボラ	ボラ												5														
スズキ	ハゼ	ウキゴリ											1	1														
		ヌマチチブ												1	2													
種類数			-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	7	8	13			12										

・底生物、付着藻類については、次の4種類の方法により水質階級を判定。
 (1) 優占種法 (2) Beck-Tsuda法 (3) Kolkwitz法 (4) 汚濁指数法
 0s: 貧腐水性 (きれいな水域) βm: 中腐水性 (ややきたない水域)
 αm: 中腐水性 (かなりきたない水域) Ps: 強腐水性 (極めてきたない水域)

※平成30年度及び令和3年度の調査については、湯水のため砂久保橋で調査実施。詳細結果は抜粋版の表3-6をご覧ください。